

東京病院ニュース

第26号 2009年10月1日発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

新型インフルエンザの襲来

国立病院機構東京病院 外来診療部長 永井 英明

2009年4月にメキシコで発生したインフルエンザは、今までヒトが経験していないブタインフルエンザA型（H1N1）が病原体であることが判明しました。その後、米国、カナダに感染が広がり、さらに世界的に患者数が増加したため、WHOは6月11日にこのインフルエンザの流行段階をフェーズ6のパンデミック（世界的大流行）に引き上げました。わが国でもすでに1200万人以上の人々が感染したと推測されています。主に15歳未満の子供達に感染者が多く、入院患者の85%はこの年代です。基礎疾患（喘息などの慢性呼吸器疾患、慢性循環器疾患、糖尿病、腎透析等）を有する人、妊婦等は、重症化する可能性が高いことがわかっています。多くの症例は軽症ですが、一部で健康な若者がインフルエンザ肺炎となり重症化し、死亡する例が見られるようになりました。インフルエンザ肺炎が起こり重症化した症例では、ノイラミニダーゼ阻害薬の投与が遅れた場合が多く、治療を早期に始めるべきであると言われています。

予防として最も重要な手段はワクチン接種です。インフルエンザワクチンは、重症化の防止については一定の効果が期待されています。しかしながら、現在、国産ワクチンの配布が行われていますが、必要とされている人達全員にただちに接種できる量ではありません。ワクチンの準備は遅れていると言わざるを得ません。

インフルエンザはおもに飛沫感染と接触感染により、感染が拡大します。したがって、これらの感染経路を断つ対策が必要です。流行時期には人混みの中へ出かけることは極力避けるべきです。飛沫感染対策としては、発病者がマスクをして、マスクがないときは咳エチケットを守ることが重要です。接触感染対策としての手洗いは大事です。



新型インフルエンザとしては、当初H5N1のトリインフルエンザが第1候補に挙がっていましたが見事にはずれました。しかし、H5N1はまだまだ可能性を残しており、今後も注視していく必要があります。

5月に、わが国で数例の新型インフルエンザ感染者が認められたときに、マスコミを中心に感染者をまるで犯罪者のように扱っていました。患者さんの側に立った報道は一切ありませんでした。今はあの時のような報道の仕方はなく、またあの時の反省もどこからも聞こえてきません。冷静な対応がいかに難しいかを示しています。私たちは情報を常に収集し、いたずらにパニックにならず、患者さんの側に立った医療を常に心がけなければならないと思っています。



佐柳先生（関門医療センター院長）の 経営改善の講演を聴いて

経営企画室長 西沢 智明

去る7月13日（月）に、経営改善に対する職員の意識改革の一環として、山口県下関市にある国立病院機構関門医療センターの院長の佐柳（さなぎ）先生をお迎えして、「誰にでもできる病院改革」という演題の講演をお聴きした。

佐柳院長の赴任当時（平成14年当時）は、関門医療センターは、国立下関病院であり、経常収支率は中国四国管内でワースト2という酷い状況であったとのことで、統廃合や、病棟を縮減するなど暗い状況下であったが、患者様中心の開かれた病院作りを目標に、国立病院の閉鎖された病院運営を見直し、改善に努められたとのことである。

例を挙げれば、院長のトップダウンで始めた「女性スタッフによる女性総合診療」、院長の特命組織（ミッション・ビューロー）で実施した「救命プロジェクトチーム」、「リスクマネージャー」、「感染コントロールチーム」、又、「経営改善・将来構想プロジェクト委員会」の設置等が上げられるが、これにより、着任から僅か4年で企業会計での経常収支率も黒字に転換できたそうである。

この黒字をベースに病院の建て替えを計画され、新棟については、先般、平成21年4月にオープンしたばかりだそうである。

地上7階建ての免震構造で大型ヘリポートも整備され、災害時にも万全となっているとのこと、羨ましいかぎりであるが、これはまさしく、国立病院時代の古いベールを拭い取り、職員一丸となって、黒字経営を維持することにより、機構病院内で大成功を収めた一例であると言える。

当院の状況は、経常収支率が20年度実績で94.8%と100%には遠く及んでいない。

再生プランの達成率も悪いため、第2次追加方針も先頃提出したばかりであるが、関門医療センターの様に、全職員にやる気があれば、いずれ黒字病院になることも可能であるはずである。当院も着実に改善計画を実行できるよう、全職員で邁進していきたい。

「リハビリテーション専門研修会」開催報告

リハビリテーション科医長 新藤 直子

平成21年9月4日（金）、5日（土）の2日間に渡り、「リハビリテーション専門研修会」が開催されました。当院では、例年国立病院機構主催のリハビリテーション研修会を開催してきましたが、今回は当院主催の研修会として初の試みでもあり、中島由槻院長の激励のもと多くの職員が協力し合い実現したものです。

幸い、全国から74名（医師4名・看護師17名・PT16名・OT6名・ST31名）もの受講生が参加し、院内外の聴講者も含めれば100名近い参加者を得ることが出来ました。今回の研修のメイン・テーマは「嚥下障害」に置き、その病態や治療・リハビリテーションについて、各分野の専門家から最新の知見を交えた講義をしていただきました。特に「摂食嚥下障害」と「誤嚥性肺炎」について、歯科・耳鼻科・呼吸器内科・神経内科・リハビリテーション科など関連する複数の診療科から異なる視点での講義を聴いたことは、受講生から高い評価を得たばかりでなく、主催する我々にとっても大変に勉強になり有意義な2日間であったと思います。ここで得られた知識は、必ずや各施設で活用され、臨床の場に還元されることと期待しています。改めて講師の先生方、関係職員の皆様に感謝致します。



後期臨床研修医紹介

平田 直子

4月より名古屋から当院呼吸器内科へ参りました平田と申します。当院のように呼吸器内科として300床、呼吸器内科医師約30名という国内有数の規模の施設で勤務できることを大変嬉しく思っております。呼吸器疾患は非常に多岐に渡り、治療が困難なものもあります。そんな中でも先輩医師や看護師さんをはじめとする病院スタッフの皆さんと協力しながらよりよい医療を提供できるように努めていく所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



田草川 麻耶

こんにちは。今年4月より呼吸器内科でお世話になっております田草川麻耶と申します。転居して慣れない環境に不安を感じながらスタートした東京病院での日々でしたが、いまでは素晴らしい諸先輩方や楽しい仲間たちに恵まれ、さらには結核をはじめとするさまざまな種類の呼吸器疾患にも取り囲まれ、汗をかきつつ楽しい生活を送っています。最近では東京病院をとりまく豊かな自然に目をやる余裕も出てきました。日々姿を変える木々が教えてくれる四季の移ろいを感じながら、私自身も成長していきたく思っています。



若輩者ゆえに至らぬ点多々あるかと存じますが、これからもご指導・ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

三上 優

本年4月に新宿にあります社会保険中央病院より東京病院呼吸器内科に参りました三上と申します。新宿歌舞伎町裏の混沌とした環境から広い敷地と自然に恵まれた環境に移り、すがすがしい毎日を過ごしています。さて、昨今医師不足が報道されていますが、呼吸器内科も例外ではありません。一方呼吸器疾患で苦しんでいる方々は増えています。私は東日本有数の呼吸器病床数を誇る当院で、さらなる経験を積み、微力ながらこういった方々に貢献できればと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



自衛消防団審査会に参加して

看護部 6西病棟 富樫 奈津子

平成21年9月11日快晴の中行われた自衛消防団審査会に東京病院代表として参加させていただきました。事前に清瀬市消防隊員の方々より訓練を受けましたが、初めは何が何だかわからずに、無我夢中で訓練を受けていました。訓練を経るにつれて号令・行動の意味が理解でき、自然と体が動くようになりました。火事など不測の事態が起こった時、人間はどうしても混乱に陥りがちとなります。その際の現状確認、初期消火、避難誘導、消防隊への連絡等様々なことを学ばせていただきました。審査会の結果は敢闘賞でしたが、看護師として、もし院内で発生した時にこの経験が少しでも役に立てればと思います。



自衛消防団に参加させて頂いたことにより、日頃何気なく通っていた病院の廊下に点在する消火栓を発見し、改めてその配置が消化のためにあることを実感しました。何事もないことが一番ですが、いざという時のために今一度生活を行っている場所の非常口や消火栓を確認してみてください。

事務部 管理課所属 中西 宏輔

9月11日に行われた自衛消防団審査会において、私は自衛消防隊の一員として参加させていただきました。



正直、何をすればいいかわからず、消防隊の方々の熱心な御指導の下、訓練を行っていました。そこで、訓練を受け、話しを聞くことで消防隊員の大変さや、訓練の重要性を学びました。審査の結果は敢闘賞でしたが、それ以上に得られるものが多かったと感じています。実際に消火器を使うことや、ホースを使って放水することはいままでには経験したことがなかったので、とても貴重な体験をさせていただきました。

今回参加させていただいたことで、どのように行動すればよいか、万が一予期せぬ事態が起こった場合には、経験を生かし、病院の職員として、役に立てるようにしていきたいと思っています。みなさんも来年以降の審査会に、是非参加してみてください。



7西病棟は 結核病棟です★

きれいな見晴らしです♪



服薬援助を通して結核治療完了を患者さんと目指しています



7西病棟スタッフ★



カンファレンスを実施し患者さんにあつた援助を考えています



医師の指導の元、救急の勉強会を定期的に実施し万が一に備えています



働き者の助手さんです♪

独立行政法人国立病院機構 東京病院

外来診療担当医師表

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1 TEL 042-491-2111 FAX 042-494-2168

【診療時間】 8時30分～17時15分(月～金曜日) 【休診日】 土・日・祝・年末年始
 【受付時間】 午前診療：8時30分～11時00分 午後診療：12時30分～14時00分

診療科名		月		火		水		木		金	
		担当医名	担当医名	担当医名	担当医名	担当医名	担当医名	担当医名	担当医名		
呼吸器科	新患・再来	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医
	再来		松井(弘)		☆赤川		永井		豊田		田村
			益田		有賀	午前	長山		鈴木(純子)	午前	松井(弘)
		午前	鈴木(純子)	午前	大島		松井(芳)		有賀		寺本
			加志崎		川島				川島		
			鈴木(純一)		伊藤(三)				山根		
			午後	赤川				☆田村			
								☆益田			
	喘息			午後	当番医					午前	☆大島
	間質性肺炎					午前	赤川				
非結核性抗酸菌症					午前	倉島					
いびき・COPD	午前	当番医	午前	当番医	午前	松井(弘)	午前	当番医	午前	当番医	
アスベスト					午前	臼井					
セカンドオピニオン(肺がん)							午後	☆田村			
感染症							午後	永井			
								益田			
								川島			
禁煙					午前	臼井	午前	☆寺本			
消化器科	新患・再来	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医			午前	当番医
	再来	午前	上司	午前	田中	午前	矢倉	午前	☆上司 ※1	午前	矢倉
	糖尿病 ※再来のみ							午後	☆時田	午後	田中
循環器科	新患・再来	午前	茅野	午前	瀬川	午前	松永	午前	瀬川	午前	茅野
	再来	午前	☆松永					午前	☆茅野	午前	☆井上(美)
	狭心症									午後	☆松永
神経内科	新患・再来	午前	城山	午前	栗崎	午前	栗崎	午前	栗崎	午前	石津
	ものわすれ					午後	☆栗崎				
	高次脳機能障害							午後	☆栗崎		
呼吸器外科	新患・再来	午前	竹内	午前	佐野 ※2 日下部 ※3			午前	中島	午前	竹内
	再来			午前	☆竹内					午前	桑野
消化器外科	新患・再来	午前	当番医 細井	午前	後藤 趙 後藤	午前	当番医 趙	午前	当番医 中田	午前	後藤 元吉
リハビリ テーション科	新患	午前	濱田	午前	伊藤(郁)/濱田	午前	伊藤(郁)			午前	新藤
	再来	午前	伊藤(郁)	午前	新藤	午前	佐藤			午前	濱田
	地域リハビリ相談							午前	☆新藤		
眼科	新患・再来	午前	山田 中山	午前	山田 中山	午前	山田 中山	午前	山田 中山	午前	中山
整形外科	新患・再来	午前	堀	午前	堀 ※4	午前	堀	午前	古宮	午前	堀
アレルギー科	新患・再来	午前	庄司			午前	庄司	午前	庄司	午前	☆大島
放射線科	新患・再来									午前	三上
泌尿器科	新患・再来	午前	浅野					午後	朝隈 ※5	午後	實重 ※5
緩和ケア科	新患							午前	三上	午前	永井
総合内科	新患	午前	茅野	午前	鈴木(純一)	午前	瀬尾	午前	瀬川	午前	朝川

【凡例】 ☆：予約患者さまのみの診療です ※1：第2・4木曜日だけの診療です ※2：第1・3・5火曜日だけの診療です ※3：第2・4火曜日だけの診療です ※4：手術日のため、受付は8時30分～10時00分までとなります ※5：受付は12時30分～14時30分までとなります

受付時間 8:30～11:00 診療時間 8:30～17:15
 午後の専門外来は、12:30より受付
 休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日から1月3日)

代表電話番号 042-491-2111
 内線番号がわかりの方は042-491-4134
 (ダイレクト・イン・ダイヤル)をご利用下さい

専門外来案内

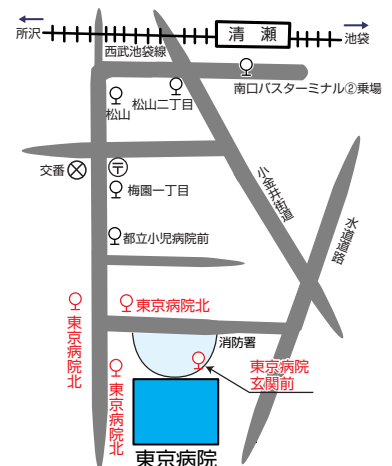
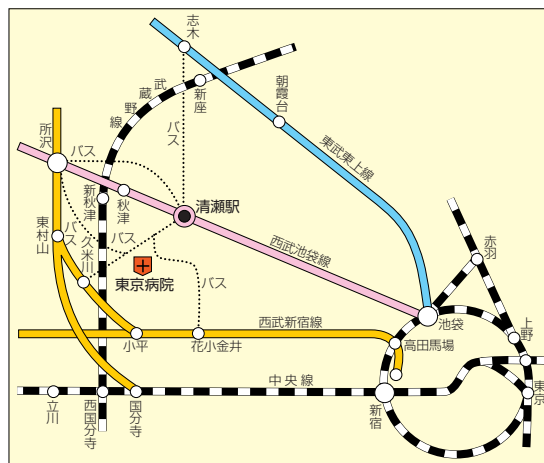
専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください	
肝臓	月～金	体がだるい、黄疸や食欲の低下、健診で肝障害のある方、平成4年以前に輸血を受けた方。	
呼吸器関係外来	喘息	火(午後)	「喘鳴」「発作性の咳」が主な症状です。特に夜間から明け方の咳き込みは要注意です。
	禁煙(予約制)	水(午前) 木(午後)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。[30分:5,250円]
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非結核性抗酸菌症	月(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	気胸	火	突然の胸痛、息苦しさを感じます。
	いびきCOPD(睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
アスベスト(予約制)	水(午前)	アスベスト(石綿)を扱うお仕事をされた方。 アスベスト吸入による肺の病気について御心配な方(予約制です)	
手掌多汗症	金	今増加している疾病です。手のひら、腋、顔面の発汗が多い症状です。 (汗で手が滑る、握手もできないこともあります。)	
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診)。	
糖尿病	木(午後)	のどがかわきやすい、体重が減ってきた。 (無症状が多いので、健康診断で異常を指摘される場合が多い。)	
緩和ケア	木・金(午前)	苦痛の緩和を必要とする悪性腫瘍やエイズによる痛み等いろいろな症状でつらい思いをされている方。	

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125(8:30~15:30)
CT・MRI検査の申し込み : 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934(8:30~17:15)

診療内容 病床数560床

- 呼吸器科
- 消化器科
- 循環器科
- リハビリテーション科
- 呼吸器外科
- 消化器外科
- 神経内科
- 内外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 整形外科
- 緩和ケア科
- ICU(集中治療室)
- アレルギー科
- 泌尿器科



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅南口バス3番乗り場より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車で越しの際は正面よりお入り下さい。(駐車場265台)
30分以内 無料
31分～4時間 100円
以後1時間毎 100円
(20時15分～7時 1時間毎300円)